



高齢者のための 交通安全のポイント



自身の体の状態を自覚した安全行動、安全運転をしましょう。

ドライバーの方へ

早めのライトとハイビームの活用

注意 1

薄暮・夜間は、歩行者をいち早く発見するため、早めにライト点灯！対向車と行き違う場合などを除き、歩行者などを少しでも早く発見できるようハイビームを効果的に活用しましょう。



補償運転と高齢運転者標識

注意 2

車の運転に少しでも不安を感じたら、自分自身で安全を考えて補償運転に努めましょう。また、高齢運転者標識は、他のドライバーに対し「高齢の人が運転しているのなら少し待ってあげよう。」などの注意喚起となります。70歳以上のドライバーの方は表示に努めて下さい。



歩行者の方へ

明るい服装と反射材の活用

注意 1

夜間、歩行中の事故を防止するため、自分の存在をいち早く発見してもらえよう、明るい色の服装と反射材用品を着用しましょう。反射材用品を着用すると、ドライバーから遠く離れた距離であなたを発見してもらえます。



「止まって」、「見て」、「待って渡る」の実践

注意 2

道路を横断するときは、横断歩道などの安全な場所で「止まって」、車両が来ていないか、左右をよく「見て」、車両が確実に停止するのを「待って渡る」を実践しましょう。道路を斜め横断したり、信号無視は絶対に止めましょう。



現在、福岡県警察では「交通事故抑止60日作戦」を推進中！